

第4回 高速道路のあり方検討有識者委員会 説明資料

平成23年5月30日



Japan Trucking Association

社団法人 全日本トラック協会



高速道路のあり方に関する基本的考え方及び要望

平成23年5月30日
(社)全日本トラック協会

1. トラック輸送の概況及び役割

○トラックは今日のわが国の国内貨物輸送量のうち、輸送トン数で93%、輸送トンキロで64%を分担し、国民生活及び産業活動を支えるべき物流サービスの主力部門として大きな役割を担うに至っている(参考資料P1、2)。このたびの東日本大震災においても、被災地への救援物資の緊急輸送については、全国のトラック協会が一致協力して、国及び各都道府県からの要請等を受け、突如の燃料不足に苦しみながらも、重大な使命感をもって取り組んだところである。(参考資料P3、4)

2. トラックにとっての高速道路の意義

- 道路を利用して物流サービスを実施するトラックにとって、高速道路は一般道とともに最重要の社会資本であり、その円滑な整備、運営は最大の関心事項である。
- このため、その主要な財源となる暫定税率を含む自動車関係諸税と高速道路料金については、トラックにとっては重い水準ではあるけれども、これまで一貫して負担に努めてきた。
- 特に高速道路については、路線別の償還、無料開放よりも料金プ

ール制による全体ネットワークの拡充を急ぐとの国の方針にも全面的に協力してきた。この意味で、残された重要課題である首都圏環状道路の整備等についてもその着実な実現を要望している。

3. 高速道路の利用促進による幅広い効用

○貴重な国民資産である高速道路の利用促進は、トラックや荷主にとっての輸送サービスの効率化やドライバーの労務負担の軽減という直接的な効果をもたらすばかりでなく、①一般道における交通事故の減少や②地球温暖化対策のためのCO₂削減や大気汚染対策のためのNO_x・PMの排出量の減少などの環境改善に、極めて大きな社会的効用をもたらす（参考資料 P5、6、7、8）。安全・環境を含めたわが国の今後ののぞましい物流体系のありかたを考えると、トラックについては、利用可能な区間はできる限り高速道路の利用を促進、奨励するような政策を、料金面を含めて考慮いただくべきではないかと考えている。

4. 料金のありかたに関する基本的考え方及び要望

○トラックとしては円滑な物流サービスを展開するため、貴重な高速道路ネットワークを最大限に活用したいと考えているが、現状において「世界一高い」といわれるわが国の高速料金がその実現を妨げている（参考資料 P9、10）。このままでは「宝のもちぐされ」になるため、トラックとしてはこれまで何年にもわたって料金の

思い切った引き下げを要望してきた。

○この結果、ここ数年来、各種の料金割引が期限付きの社会実験を含めて逐次導入、拡充されるとともに、現政権においては「高速料金の段階的無料化」をマニフェストに掲げて（参考資料 P11）、新たな料金制度の具体的な検討を進めていただいていることは、今後は少なくとも料金の実質的な引き下げが行われるだろうという意味で、大いに期待している。

○しかしながら、トラックとしては一足飛びの無料化により、不測の混雑・渋滞が発生し高速道路本来の機能が損なわれるようなことはもとより、財源難により必要な維持補修が困難になるようなことも全く希望しておらず、むしろ中長期的な視野に立って、持続可能な高速道路の健全な維持運営を担保しつつ、少なくとも現状より負担の小さい、ユーザーとして真に利用しやすい優れた高速道路制度の確立をいただくことを、強く希望している。

○このような立場から、料金に関する具体的な要望としてはこれまで、①基本料金の全面半額化以下への引き下げ、②日々公共的物流サービスに従事し、環境面から見ても自家用トラックに比べ優れた輸送特性を有する「営業用トラック」に対する特別割引制度の創設などを真剣に要望してきた（参考資料 P12、13、14、15）。たとえ時間はかかっても、是非引き続き十分なお検討をお願いしたい。

○それと同時に、高速道路料金はトラックにとって最重要の公共施

設の利用料金であり、個々の企業の経営計画、収支計画等を検討、決定する上でもそのありかたは大きな影響を及ぼすものであるため、社会実験等過渡期における試行錯誤はやむを得ない面があるとしても、頻繁に予期せぬ変更が繰り返されることは様々な支障があるので、ある程度の期間は安定的に適用されることを基本として制度設計をいただくことを要望したい。また、現状の料金は時間帯割引等の逐次追加によってかなり複雑なものになっているが、わかりやすく使いやすい公共料金としては、なるべく単純明快なものとしていただければありがたい。

○なお、当面の短期的な料金の見直しについては、「世界一高い」料金の改善の面からも、マニフェストとの関係からも、最低限、現状よりも負担が絶対に増えることのないようにしていただきたい。

5. 東日本大震災による被災地の復旧・復興促進のための東北、北関東地域の高速道路料金の無料化について

○東日本大震災の被災地の早期復旧・復興のためには、平時の輸送よりも活発な関連物資の輸送を行う必要があり、このようなときこそ高速道路の最大限の有効活用が図られるべきであると考えている。

○現在与野党において、そのような見地から、当該地域の高速道路の中型車以上の車両の無料化を検討中と報じられているが、必要と認められる期間に限定いただく形であっても、是非その実現をお願いしたい。

○なお、上記対策については、他の広範な諸対策とともに、復旧・復興に向けた特別の財源措置によって実施いただきたく、現行割引制度の廃止等、仮にも現在の料金水準を引き上げるような方法で行うことは到底了解できないので、宜しくご配慮賜りたい。